



朱雀門

皇太子の御即位の儀に際しては、自らも
 深くしたる御即位の儀に、自らも
 深くしたる御即位の儀に、自らも
 深くしたる御即位の儀に、自らも
 深くしたる御即位の儀に、自らも



熱心にリハーサルをくりか
 えす宮城さんと富士子さん

昭和二十八年一月から約
 半年にわたって朝日新聞取
 上に掲載された山口松太郎
 の小説「豆友相の家」の映
 画化である。赤三郎一社
 社長が製作総指揮をとる大
 映子さんの破天荒作中場
 である。

明治維新直前にこの皇統
 朝の宮が十四代将軍家康に
 降参された奉旨を翻的に演
 じた物語を八尋不二がシ
 ナリオに書き、高一生が監
 督したもので、富川、天が
 主演に起っている。

配役にも大映ベス・メロ
 ン・バーを揃え、山本富士子
 ・若尾文子・市川
 健蔵の土城に、
 宮城は神代三郎
 の入りを生かして
 いる。

朱雀門



生涯をかけて仕える姫宮の恋する御方を同じく想わずにいられなかつた夕秀の恋は悲しくも報われた。

① 撮影は今年初頭から京都大徳院跡所に於て開始され、慎重にすゝめられて目下その最高潮である。幕末、徳川慶喜が折から仁孝帝の皇女和の宮（若澤文字）は十六才を葬えられ、御葬儀の舟内川宮様仁親工との御誓儀も期近いこととなつていた。ところが、和の宮の侍女で、徳川御葬儀のあかつきは妻女房（野宮）として共に徳川宮家へ行く夕秀の女で、陸奥の親の倉友俊（倉野俊）が成る日、杜撰所に閉居して、和の宮の御葬儀は中よにならぬやうと誓



しくも振られたが――

②夕秀は新編源氏物語の中心人物と見られる。和の宮の御子にすゝめ、春情川宮と共に逃げられることをすゝめ、その事を許すが、其の乱舞の夜で待たれる春情川宮の許へ急がれる和の宮は途中で徳川時代の子によつてよろおきえられてしまわれた。そして和の宮は味方所へつれもどされ、夕秀とはひき離されてしまつた。そして父の家へ引きとられて行く途中、夕秀の軍に國王武士におそわれ、この時意佛をうけた友博に閉もなぐ死んでしまつた。その後夕秀は姫女に他安(博志 四郎)といふ養父のあることを知り、親の手ひきとて春情川宮の隠家へ守られた夕秀は、宮に身も心も帰れる身となつた。

和の宮の一行をひきまかに江戸まで送つたが、今がて世の中は大きく動き、將軍家成は鎌倉、和の宮も病の床に伏す身となつた。やがて東洋大皇帝として江戸入りせられた春情川宮は、江戸郊外の飯高で臨時の味にある和の宮を訪ねられ、飯高の美しい娘れを上げられたのであつた。

③夕秀はその短髪翁其後(小次郎)とはかつて和の宮が十四代將軍家成(徳川家光)の夫人として江戸へ海路にさきこたをかくらんでいた。これによつて勤王攘夷の世のうらみをおきえようとする幕府の政略に組したわけであつた。

幼時からの許婚者春情川宮を深く愛された和の宮の心の傷は大きく、夕秀も腕を虎しんだが、夕秀の方ではそれを阻止すること出来なかつた。